

手足のつっぱりに対する治療法

「ボツリヌス毒素治療」

脳卒中によくみられる運動（機能）障害に、四肢の筋肉が異常に緊張して動かしくなくなったりすることがあります。他にも手指が握ったままとなり開こうとしても開きにくい、肘が曲がる、足先が足の裏側のほうに曲がってしまうなどの症状があります。このような状態が長く続くと筋肉が固まって関節運動が制限され、日常生活やリハビリテーションに支障をきたすので治療が必要となります。

2015年12月から当院でも治療として「ボツリヌス毒素治療」をはじめました。食中毒の原因菌であるボツリヌス菌が作り出すボツリヌス毒素を筋肉に注射し、緊張している筋肉の働きを抑制して、筋肉を緩める治療法です。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ご安心ください。

手足が動きにくかったり、手足がつっぱったり、筋肉の痛みに悩まされている人にはぜひお勧めしたい治療法です。

当院では**毎週金曜日の午前中の外来**にて、**伊藤医師**が「ボツリヌス毒素治療」の診療にあたります。

“手足のつっぱり”のことでお悩みの方は、ぜひ一度ご来院ください。

